

① 紅斑・腫脹

手掌～手指、足底～足趾にびまん性の紅斑が出現し、多少とも浮腫性に腫脹する。皮膚表面はやや光沢を帯び、指腹の指紋が消失する傾向がある。キナーゼ阻害薬による紅斑は限局性のことが多い。



図9

グレード1		図 9
薬 剤	カペシタビン	
疾 患	乳がん	
所 見	両手掌にびまん性の紅斑が認められる。手指は多少、光沢を帯び、指紋がやや不明瞭となっている。疼痛はないのでグレード1と判定した。	



図10

グレード3		図 10
薬 剤	ソラフェニブ	
疾 患	腎がん	
所 見	手指に限局性の紅斑が認められる。疼痛を伴い日常生活に支障を来しておりグレード3と判定した。	



図11

グレード1		図11
薬 剤	ソラフェニブ	
疾 患	腎細胞がん	
所 見	足底にびまん性の紅斑が認められる。土踏まず部などの非荷重部で病勢がやや弱い。疼痛はなくグレード1と判定。	

写真提供: Dr. Caroline Robert, Head of the Dermatology Unit, Institute Gustave Roussy